

作成日：2020年6月11日

**学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校**  
**2020年度 学校関係者評価委員会議事録**

議事録作成者：藤田 直人

1. 開催日時 2020年6月11日（木） 13:00～15:00
2. 開催場所 東京メディカル・スポーツ専門学校 校長会議室
3. 参加者 学校関係者評価委員（Zoomにて参加）

高井 豊	業界関係者（医療法人社団森山会リハビリテーション統括部長）
牛込 公一	卒業生代表（有限会社ティーン・シー・ティーン 代表取締役）
山本 洋美	保護者代表（柔道整復師科1年在籍）
真板 竜太郎	高校関係者（木更津総合高等学校 校長）
沼倉 英理	近隣関係者（行船管理有限会社 副社長）
宇梶 義男	業界関係者（ムーヴアクション株式会社 代表取締役）

学校側参加者

関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校	学校長
松川 勝吉	東京メディカル・スポーツ専門学校	事務局長
舘脇 康郎	東京メディカル・スポーツ専門学校	教務部長
形本 裕子	東京メディカル・スポーツ専門学校	事務部長
藤田 直人	東京メディカル・スポーツ専門学校	学生サービスセンター長

4. 会議の概要
  - (1) 学校長挨拶
  - (2) 委員紹介・委嘱状交付
  - (3) 2019年度自己点検・自己評価結果報告  
及び2020年度重点目標の説明
  - (4) 質疑応答

## 議事

### (1) 学校長挨拶

日頃、本校の学校教育にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。また本日はお忙しい中、学校関係者評価委員会にご参加いただきましてありがとうございます。学校も大変な状況になり、委員の方々においても大変な困難をかかえておると思っています。お察し申し上げます。専門学校も通常の授業ができなかったり、学校行事が中止になったりして不安を抱えながらですが、これからやれることをしっかりやっという状況になっております。このように社会的な大きな障害があった時に、専門学校が行政的に社会的にどのように扱われるか非常に関心を持つところになります。上部団体の関わりなどにより、例えば奨学金の支給など学生個々の対応については、大学等と同じく扱われています。ところが学校が直接学生に支援した場合などについては、国立大学は全額、私立大学は 2/3 を国が経常費の助成で補うスキームになっておりました。専門学校においても当初このスキームから外れていたが、財務省などに直接交渉し 2/3 の助成を受けられるようになった。このようにこのようなことが起こるたびに専門学校の制度的な認知をさらに広めていかないと思います。また教育についてですが、コロナ禍により遠隔授業が注目されるようになりました。本校の 3 つの学科は、厚生労働省の指定養成施設にもなっており、すでに時間を共有する遠隔授業が 3/4 まで認められています。さらに今回の事態によりオンデマンド授業も認められることになりました。ただ医療系の学科は、就学中に規定の時間をこなさなくてはならず、学生が自由に出入りできるオンデマンド授業では、時間数が担保できなくなります。そのあたりは、今後厚生労働省と詰めることになります。さらにこれからは、遠隔授業に本格的に取り組むことが想定されます。例えば、それぞれの学校協会などですばらしいお医者さんの授業を画像で用意すれば、それぞれの学校で共有でき学生もイメージに受講でき学校側も色々な面で助かります。放送大学も含め基礎的な座学の授業は、オンデマンド化が望ましいしその方向に進むのではないかと。それを実施するには、授業の進め方やその先の評価などを詰めてはならない。このことは、話を深めるいいチャンスではないかと考える。そしてもう一つは、実習であります。このような状態ですと外部での臨床実習ができていません。その代わりとして、柔整や鍼灸は学内での実習でカバーするのか、または演習でいいのかなどその中身についてここにきて授業や実習の見直しを迫られている。外部での臨床実習で求めていたものが、内部の実習で担保できるのであれば、通常の授業でも活用できるのではないかと。これについては、各学校と連携をして我々が厚生労働省などに提案していきたい。学校運営や教育の中身についても新しい取り組みをせざる得ない状況ですが、逆にプラスに捉えそれぞれの進展につなげていくことが大切と考えています。本日は、皆さまから様々な角度からご意見を頂戴いただければと考えています。よろしく願いいたします。

(2) 委員紹介・委嘱状交付

各委員の紹介と委嘱状を交付する。

(3) 2019年度自己評価内容と2020年度重点目標説明

・学校概要の説明 学校の設立、学科、組織目的の紹介

1. 教育理念・目的・育成人材像

職業人教育を通じて社会に貢献する・・・学園のミッション

建学の理念 (実学教育・人間教育・国際教育)

4つの信頼 (学生保護者、高等学校、業界、地域)

育成人材像 学科毎に養成目的、教育目標を設定

特色ある教育活動への取組み

3つのクロス運営組織 (スポーツ部・プロフェッショナル部・キャリア教育部)

学科横断プログラム (AT 専攻・エクステンション講座・トレーナークラブ)

(松川) 本日は、緊急事態宣言下ということもあり4つの課題に絞ってお話をさせていただきます。

- ・遠隔授業の構築 (基準3)
- ・高等教育の無償化 (基準5)
- ・安全管理 (基準6)
- ・遠隔広報の構築 (基準7)

初めに遠隔授業の構築について教務部長の館脇より説明させていただきます。

(館脇) 3月以降の動きについて時系列でお話したいと思います。

3月に卒業式を延期することが学園として決まり、その後遠隔授業を視野に入れ検討を進めました。そして本校の運営会議で対面授業をGW明けにすることを決め、在宅学習についても準備を始めました。

4月には、学生への情報提供は全て今年度より導入した moodle を使い web 上で告知し、学校では緊急事態宣言を受けて危機管理委員会を設けてソーシャルディスタンスの対策を策定しました。また5月末までの対面授業(登校)を中止に在宅学習を実施しました。

さらに遠隔授業(Web会議システム zoom を使ってのリアルタイム授業・動画視聴によるオンデマンド授業)の準備に入りました。

5月以降の教育方針は、1. 学生不安の軽減(声を聞いて声を届けよう)

学生も教職員も講師もICT教材に慣れようを掲げました。そして5月までは課題学習、6月以降は在宅でのオンライン学習を始めました。

(関口) 文部科学省の HP で本校の取り組みも見られますので、ぜひご覧ください。

## 2. 学習成果

(松川) 就職は、希望者は 100%就職しております。資格試験について、各学科とも全国平均を上まっております。中途退学については、目標を大きくオーバーしてしまい課題を残してしまいました。

## 3. 学習支援

(松川) 昨年「大学等における修学支援」対象機関になり、67 名が減免対象となった。また現在「学びの継続」の支援で 50 名弱の学生を推薦する予定です。オンライン授業の受信の問題のある学生に「モバイルルーター」の無料で貸出を行っている。

## 4. 教育環境

(松川) 長期化が予測される新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、教職員・学生に向けた感染防止環境作りや衛生管理、感染マニュアル、倫理指導等、安心安全な学校作りを推進することを目的に「危機管理委員会」を発足した。3 密を防ぐ対策やウイルスを持ち込まないために何をするかを策定し、推進している。また学生には、「新しい学生生活様式」を作りそれぞれの場面で感染予防対策を啓蒙している。(学生向けの動画を紹介)  
ここで各々の業界の方々にご意見を伺いたいと思います。

### 【重点目標について】

1. 国家試験対策を強化する……○  
⇒全学科全国平均以上の結果
2. 教育のマネジメント体制を確立する……○  
⇒学部制から次世代マネージャーへ
3. モベーションの高い入学生を継続的に確保する……△  
⇒高2参加者からの出願 50 名

### 各委員からの意見

- ・ コロナウイルス感染症のために登校して学習することが難しくなり、遠隔授業になった際の対応はご苦労されたと思います。今後もこういった授業が少なくないも少なくないはずなので生徒の学習できる環境整備を今まで同様お願いしたい。
- ・ 早い段階でオンラインの遠隔授業の導入に向けて動き出したことは、これが終息した後も、教育機関としての新たな可能性を生み出す大きな財産になると思う。

- ・長期化が予想される新型コロナウイルスに対応するために、危機管理委員会が発足したことで、今後の未知なるものへの対応もしっかり対応していくことが期待できる。
- ・以前先生の休職があったようですが、生徒たちも保護者も不安になるので先生方も十分注意してほしい。
- ・実技が伴う授業の遅れも心配になるところです。最終目的＝国家試験合格はもとより生徒の理解度などのにも注意してほしい。
- ・卒業後1年以内の離職については、分析が必要と思う。
- ・退学者が前年度に続いて、昨年度比・数とも増加している。学生に対する支援システムは充実していると思われるが、さあなる原因と対応策を探る必要があると思う。
- ・生徒によって学力不足、学習、学業不振と思われる子もいるようです。学習だけでなく心のサポートにも注意してほしい。
- ・3年間、寮を利用させてもらい学生寮や病院などの体制も整っているようです。しかし残念ながら病院などに出向くことは少ないようです。
- ・オンライン説明会を見させていただき良くできていると思った。実技が伴うオープンキャンパスも必要だと思います。
- ・学校の施設、設備を学外の団体やイベントに貸し出すことは、学校への理解と信頼をえるために、非常に意義深いものだと思います。
- ・いろいろな取り組みを行っていると思われますが、いち保護者の立場から見るとどのような活動、取り組みがなされているか分からないところがあります。

## 2020年度重点目標

### 【重点目標】

1. AIやICTで学校運営をイノベーションする
  - ・遠隔授業（ハイブリッド授業）の構築  
課題学習・オンデマンド・オンライン
  - ・「TMSのICT教育」の構築
2. 安全管理（コロナウイルス含む）
  - 防犯カメラ・感染予防

### 【数値目標】

1. 中途退学者 41名（6.0%）
2. 入学者数 230名
3. 進級率 90.1%

【運営方針】

「教育力のTMS」を上げる

※「教育力のTMS」とは？

- ・ 入学者からの国家試験合格率 80%  
をどうすれば達成できるか常に意識

「教育力のTMS」を上げる

「教育力のTMS」とは？

- ・ 中途退学 0名 ・ 国家試験合格 100%  
をどうすれば達成できるか常に意識

(松川) そろそろお時間もありますので、委員会を終わらせていただきたいと思います。  
本日は貴重なご意見ありがとうございました。